

船井情報科学振興財団

報告書

織井理咲

University of Washington

Paul G. Allen School of Computer Science & Engineering

2021 年 12 月

2021 年 9 月から University of Washington Paul G. Allen School of Computer Science & Engineering の Ph.D.過程に入りました織井理咲です。研究分野は Human-Computer Interaction (HCI)と Information and Communications Technologies for Development (ICTD)です。今回は一学期目を振り返るとともに、シアトルでの新生活についてご報告したいと思います。

I. 研究

博士課程一年目は三つの研究室をローテーションすることになりました。通常は入学時に決められた指導教員と研究をすることになりますが、かなり簡単にローテーションが認められました。入学時の指導教員にコミットしないといけないプレッシャーはあまりなく、時間をかけて自分と相性の良い指導教官を探す学生が多いようです。秋学期は一人の教授と研究をしましたが、三つの研究室全てのミーティングやイベントに参加していたのでやや忙しかったです。一方で、一学期目からたくさんの学生に出会うことができ、あらゆるコミュニティで友達ができました！

秋学期は HCI/Accessibility 専門の教授と urban accessibility and social inequity の研究を始めました。歩道のアクセシビリティに関する要因（歩道の有無、凸凹、障害物の有

無等)のデータを集めて分析し、収入と民族的多様性との相関性を検証しました。久しぶりにプログラミングヘビーな作業をしたので上手くいくかが不安でしたが、10週間で成果をきっちり出し、共同研究者向けのプレゼンテーションを作り、ショートペーパーのドラフトを書くことができました。HCIやICTDを研究している人は社会問題を意識している人が多い印象で、今回のプロジェクトのように研究を社会問題の理解や改善にフォーカスすることが多いです。

また、夏に筆頭著者として書いた論文がHCIの国際学会(CHI)に採択されました！CHIに論文を出すのが初めてで、論文のサブミッションの時期がシアトルに引越す時期とかぶっていたためかなりストレスフルでしたが、良い結果を出すことができ、とても嬉しいです。5月にニューオリンズで開催される学会で研究を発表する予定なので、それまでに論文の最終調整やプレゼンテーションの準備に集中したいと思います。

II. 授業

秋学期は Computing Ethics の授業を受けました。バイアス、技術の環境への影響、フェミニズム、誤報、プライバシー等のトピックに関する論文や記事を読み、授業でディスカッションをしました。今回の授業を通して、CSの観点からのethicsや倫理的な技術開発の実用性を学ぶことができ、今後の研究に繋げていければと思います。

Computing Ethicsは卒業にカウントする授業ですが、卒業に必要な単位とは関係ない授業やイベントにも参加しました。ICTDのリーディングセミナーでは分野に関連する論文についてディスカッションを行い、基本的な知識を得ることができました。セミナーに参加している学生のほとんどはICTDの研究室に所属している人でしたが、他にはセキュリティーやHCIを研究している学生もいました。DUB(UWのHCIコミュニティー)による講演ではHCIに属するUWと他校の研究者による興味深い発表を聴きました。HCIの様々な研究テーマと研究手法を知る良い機会でした。

III. Allen School¹での日常

Allen Schoolの建物は二つあり、私はBill & Melinda Gates Centerにオフィスを持っています。とにかく設備が良く、オフィスにいるだけでモチベーションが上がります。私のオフィスには機械学習、計算生物学、理論など自分の分野とは違う分野の研究をしている学生が10人程ワークスペースを持っていま



私のオフィスがある Bill & Melinda Gates Center

¹ Paul G. Allen School of Computer Science & Engineering を略して Allen School と呼んでいます。

す。オフィスメイトとはご飯に行ったり、休憩時間に話すことが多く、自分の研究分野以外の人と仲良くなれることができました。



もう一つの建物の Allen Center

Allen School ではワークライフバランスが取れている学生が多い印象です。オフィス外のソーシャルライフがあるのに加え、デパートメント内の交流を深めるカルチャーがあります。私は ICTD 研究室のハッピーアワーに参加しているので、カジュアルな雰囲気です。研究以外のことも自由に話すことができ、研究室の学生とより仲良くなりました。また、デパートメントが費用を負担するイベントとして、学生の企画によるランチイベントがあり、研究室内外の学生と知り合う機会があったり、ハロウィンのお化け屋敷に新入生 20 人とでかけたりして、人的ネットワークが随分広がりました。

また、年末の Allen School Holiday Party の企画に関わりました。デパートメントの教授と学生全員が集まり、ご飯を食べ、教授と学生による劇を鑑賞するイベントです。予想以上に参加者が多く、企画と実施においてたくさんの人と関わることができたので、今後もイベント企画に関わりたいと思いました。

IV. シアトルでの生活

キャンパスからバスで約 10 分のタウンハウスに Allen School の新入生二人と住んでいます。割と治安が良い住宅街なので比較的安全なエリアです。家の目の前には高級スーパーがありますが、私は家から徒歩 15 分で着く若干安いスーパーか車で 20 分の距離の日本食スーパーで食材を買っています。ハウスメイトは悩みを共有しあったりできる良い仲間です。

週末はダウンタウンに近い Capitol Hill というレストランやバーが盛んなエリアに行くことが多いです。ご飯を食べに行ったり、友達の家遊びに行ってボードゲームをしたり映画を観てストレスを発散しています。シアトルのレストランの食事は美味しく、色々な料理があるので食に困る事はなさそうです。最近は日本風の居酒屋やインド料理屋に行くことが多いです。あとは、シアトルの有名観光地であるパイクプレ



パイクプレイスの入り口に飾ってあるサイン



Leavenworth でイルミネーションを楽しみながらソーセージとプレッツェルを食べました！

イスにもよく遊びに行きます。チャウダー、ピロシキ、フランスのパン、チーズ等の美味しいものを売っている有名なお店の前は常にたくさんの方が行列しています。スターバックスの一号店に入るには一時間半以上並ばないとなりません！

11月末にはワシントン州にある Leavenworth というドイツ村（シアトルから車で約2時間半）に行きました。綺麗なイルミネーションが飾られ、クリスマスの音楽が流れていて賑わっていました。シアトルの近くにポートランドやバンクーバーもあるので、車があれば簡単に行けるのが嬉しいです。

V. 最後に

まだ始まったばかりですが、これからの展開が楽しみです。船井財団にご支援いただいていますことを本当に感謝しております。これからもよろしくお願いいたします。